

平成 28 年 度
町田市民春季ソフトボール大会

代表者・監督会議

1. 大会実施要項確認
2. 大会規定・申し合わせ事項確認
3. 組み合わせ抽選

平成 28 年 3 月 5 日(土)

於:サン町田旭体育館多目的室

主催 : 町田市体育協会

主管 : 町田市ソフトボール連盟

後援 : 町田市

武相新聞

ナガセケンコー株式会社

平成28年度町田市民春季ソフトボール大会実施要項

1. 期 間 平成28年4月3日(日)～5月29日(日)までの毎日曜日及び祝祭日とする。

2. 球 場 忠生公園ソフトボール場他

3. 開 会 式 平成28年4月3日(日) **9時45分より**、「市民球場」にて開催(受付9時15分～)
(雨天の場合は、「サン町田旭体育館・1階アリーナ」にて開催 *上履き着用)

4. 参加出場資格 町田市内に在住または在勤している者で構成したチームであること。

- 4-1 ○一般男子の部……年齢18歳以上の男子(平成28年4月1日現在)
- 4-2 ○一般女子の部……年齢15歳以上の女子(平成28年4月1日現在)
- 4-3 ○実 年 の 部……年齢50歳以上の男子(平成28年4月1日現在)
- 4-4 * 出場する者は、連盟取り扱いの「ソフトボールチーム保険」または、他のスポーツ保険に必ず加入すること。尚、他のスポーツ保険に加入の場合は証明証(写)を提出のこと。

5. 服 装

- 5-1 ○統一したユニホームを着用のこと。但し、やむを得ない場合は同色の「トレーニングウェア」を着用すること。
- 5-2 ○ユニホームナンバーは、背中と胸下に付ける。
監督30、コーチ31・32、主将10、他のプレーヤーは1～99までの整数とする。
数字の大きさは、背中:15cm以上、胸:6～12cmとする。

6. 試合球 ケンコーソフトボール・ゴム3号球、コルク芯

7. 試合方法 グループリーグ戦及びトーナメント方式

8. 部別区分

- 8-1 ○一般男子【キング、1部、2部】
- 8-2 ○一般女子【クィーン、1部】
- 8-3 ○実 年 【1部】

| | |
|-----------|--|
| * キングリーグ | ●7、8位チームは、1部に降格する。 |
| * クィーンリーグ | ●最下位チームは、1部に降格する。 |
| * 男子 1 部 | ●優勝、準優勝チームは、キングリーグに昇格する。 ●各グループ最下位の4チームは、2部に降格する。 |
| * 男子 2 部 | ●上位4チームは、1部に昇格する。 |
| * 女子 1 部 | ●優勝チームは、クィーンリーグに昇格する。 |

9. 大会日程 別紙の通り

10. 組み合わせ 3月5日(土)監督会議の中で、抽選にて決定する。
* 抽選時、各部・前大会の上位2～4チームをシードする。

11. リーグ戦の順位決め方

* 試合毎に「勝ち」「負け」「引き分け」を決め、最終「○勝○敗○分」の形で表す。

- (1) 勝数が多いチームを上位とする。
- (2) 勝数が同じ場合は、負け数が少ないチームを上位とする。
- (3) 勝ち数も負け数も同じ場合

1) 2チームの場合

- ① 「直接対戦」の勝ちチームを上位とする。
- ② 直接対戦が「引き分け」の場合は、「得失点差」が大きいチームを上位とする。
- ③ 得失点差も同じ場合は、「得点」が多いチームを上位とする。
- ④ 得点も同じ場合は、「抽選」とする。

2) 3、4チームの場合

- ① 「得失点差」が大きいチームを上位とする。
- ② 得失点差が同じ場合は、「得点」が多いチームを上位とする。
- ③ 得点も同じ場合は、「抽選」とする。

$$\text{得失点差} = \text{「チーム総得点」} - \text{「チーム総失点」}$$

(4) 棄権した場合

- ① 得点 = 棄権チーム「0点」× 相手チーム(7点)とする。

*** 両チーム棄権の場合…「両チーム不戦敗」とする。**

その場合：両チームとも、得点「0点」、失点「7点」を記録する。

12. 表彰

○キング、クィーン、女子1部 …… 優勝、準優勝

○男子1、2部、実年の部 …… 優勝、準優勝、3位(2チーム)

13. 審判員、ルール

13-1 ○審判員は、JSA公認審判員とする。

13-2 ○ルールは、2016年度オフィシャルソフトボールルールによる。

13-3 ○試合時間、延長戦、コールドゲームは、大会規定により別に定める。

13-4 ○大会に関し、別に申し合わせ事項を設ける。

大会規定

1. 試合時間制限と回数

- ① 試合時間は、70分、または、7回とする。

但し、試合開始後65分を経過後は、新しい回に入らず試合を成立させる。

- ② 各部の決勝戦のみ90分制とする。

2. 試合終了の確認事項

- ① 65分(決勝戦85分)経過後、後攻チームが勝っている場合……裏の攻撃は行わない。

- ② 勝っている後攻チームの攻撃中に65分が経過した場合は、その時点で試合を打ち切る。

- ③ サヨナラ、コールドゲーム

* 必要要件を満たした時点で打ち切る。

- ④ 上記②、③の場合……イニングの途中で試合を打ち切っても、その回が全て終了したものとする。

3. 同点の場合の措置

- ①制限時間内・7回終了時に同点の場合……タイブレーカ方式で試合を継続する。
- ②制限時間経過後同点の場合
 - グループリーグ戦 ……「引き分け」とする。
 - 決勝トーナメント戦 ……「抽選」とする。
 - * 但し、決勝戦のみ最長3回まで「タイブレーカ」を行い、それでも同点の場合は「抽選」とする。

4. 得点差による「コールドゲーム」

○3回終了時15点、4回10点、5回以降7点以上の差が生じた場合。

- 5. 各球場において「特別グラウンドルール」が決められているので審判員の指示に従うこと。(P16～21)
- 6. ベンチに入れる者は、選手登録名簿に記載、且つ、打順表に記載された者に限る。
 - * スコアラーは、2名までとする。
- 7. チームの集合は、試合開始1時間前。打順表の提出は、30分前を厳守のこと。
- 8. 打順表は、4枚作成(決勝戦は6枚:放送用、記録用を含む)し、大会役員に提出のこと。
 - 8-1 ○選手名は必ずフルネームで記載すること。
 - * 決勝戦は、「ふりがな」を付与する。(放送用)
 - 8-2 ○選手登録名簿と照合の上、両チームの打順表を1枚ずつ監督に返却する。
 - * シートノック終了後、球審から監督に手渡す。
- 9. 先攻・後攻の決定は、試合開始前審判員の指示で「コイントス」で決定する。
- 10. シートノックは、審判員の指示により後攻チームから5分間とする。
 - * 但し、天候その他の事由により時間を短縮したり、省略したりすることがある。
 - * また、相手チームのシートノック中は、安全上の配慮から他チームの練習は禁止する。
- 11. 攻守交代は駆け足で迅速に行い、守備交代時は、ボールを投手板に置く。雨天時は、審判員に手渡す。
- 12. 抗議は審判員の判断に基づく判定には許されない。
 - 但し、ルール上の疑義については「監督(代行)」に限り質すことができる。
- 13. 監督の代行について
 - 13-1 当該試合に限り「権限を行使する代行者」のことを言う。
 - 13-2 監督代行は、打順表の監督欄に代行者氏名とユニホームナンバーを記載し、「代行」と添え書きすること。
 - 13-3 試合開始後到着した正規の監督が選手として試合に出場することは差し支えない。
 - * 但し、打順表に選手として氏名が記載されていること。

14. 故意四球

- 守備側チームが、投球せずに故意に打者を一塁に歩かせるため、投手、捕手、或いは監督が球審にその旨を通告する。
 - ・通告は投球とみなされ、四球を与えるのに必要な投球数がカウントされる。
 - ・通告は、打席の初めでも、いかなるボールカウントのときでも行うことができる。
 - ・故意四球が球審に通告されると、ボールデッドとなり、走者はフォースのとき以外は進塁できない。
 - ・2人の打者に故意四球を与えたいときは、最初の打者が一塁に達するまでは、2番目の打者を歩かせることができない。

申し合わせ事項

1. 市民大会参加申し込み、監督会議、及び、開会式への欠席チームの取り扱いについて

○①参加申し込み、②監督会議、③開会式へは、チームとして必ず出席することとする。

*上記のいずれかに欠席したチームは、当該大会には出場できないものとする。

2. 試合当日不出場チームの対処と処置について

○試合当日に出場できない場合には、試合開始30分前までにチーム代表者1名が試合会場の本部席に「棄権」する旨を連絡に来ることとする。

*連絡に来ないチームは、当該大会(残りの試合)には出場できないものとする。

3. 市民大会運営へのチームの役割について

3-1 ●第1試合及び最終試合該当チームの役割

○第1試合のチームは、内・外野ネット設置球場の場合、ネット設置作業に協力すること。

○最終試合チームは、ネットの撤去作業に協力するものとする。

*主な作業は、外野ネットの撤去と運搬とする。

3-2 ●試合後の役割

○勝ちチームは、次の試合の役員を担当する者2名を選出する。

*引き分けの場合は、代表同士のジャンケンにより、負けチームが担当する。

○役員担当の2名は、得点記載、得点ボード掲出、審判員へのボールの供給及び試合時間の管理をネット裏本部席にて行う。

*《小山田球場》

○自チーム試合の後の試合の役員を担当する者2名を選出する。(両チーム計4名)

○4名のうちの2名は、ネット裏の仕事。他の2名は、外野上通路の安全係を担当する。

4. 大会当日雨天中止の場合

4-1 中止の連絡方法

○第1～3試合の該当チームには、電話で「中止」の連絡を行う。

○第4試合以降の該当チームは、連盟の掲示板で「中止」の確認を行うこと。

4-2 大会日程の変更について

○変更した日程は、中止日の午前10時に「市民球場管理棟の掲示板」に掲出するので、チームで掲示内容の確認を行うこと。

*できるだけ速やかに「連盟ホームページ」にも掲載する。

5. 女子チーム監督・コーチについて

○監督・コーチのユニホームは、選手と同一のものが望ましい。但し、揃わない場合は、類似しているものを着用のこと。

*ユニホームナンバーを背中と胸下に付ける。

※男子コーチについて

○きちんと登録し(2名を超えても可としている。)服装も整えること。

○試合当日コーチが不在の場合、ノックは選手どうしで行うのが望ましい。

選手でできない場合は、登録者以外の者に臨時ノッカーを依頼することは致し方ないものとする。

但し、運動にふさわしい服装で行うこと。また、その者は試合中はベンチには入れないものとする。

6. 女子選手の補充について

○この制度は、棄権防止を目的としており、自チーム選手登録者以外の者を臨時選手として出場することを認め、試合が成立するよう取り扱うことを趣旨とする。

- 1) 補充選手は、連盟に登録している者、登録していない者のどちらも認められる。
* 連盟未登録者の場合は、スポーツ保険加入証明証(写)を本部席に提示すること。
- 2) 補充は1試合**3名**までとする。
- 3) 補充は、自チーム選手が足りないときのみ適用。試合途中に自チーム選手が9名揃った場合、補充選手はベンチに下がり、その試合には出場できないものとする。
- 4) 自チーム選手が9名ギリギリの場合、予備選手として1名の補充を可とする。
(但し、試合中、ケガ等で欠員が生じた場合のみ出場できることとする。)
- 5) 投手は、補充の対象外とする。
- 6) 補充選手は、打順表記載の際氏名を()で囲むこと。また、ユニホームナンバーは重複しないこと。尚、服装は異なってもよい。
- 7) 補充選手の出場試合数の制限は無しとする。
※補充が、補強にならないように気をつけること。

7. 実年の部・特例について

- 7-1 一般男子チームとの重複登録を可とする。
- 7-2 ユニホームは異なってもよい。但し、ユニホームナンバーの重複は不可とする。

8. 試合日程の連絡と確認

- 8-1 試合終了後、翌週の試合内容(球場、対戦チーム、試合時刻)を掲示する。
○ 掲示場所は「市民球場管理棟掲示板」1か所のみとする。
○ 掲示時間は、試合終了後午後7時を目途とする。
* 連盟ホームページにも掲載する。

9. 安全対策

- 9-1 試合中の負傷については、応急処置はしますがその後の責任は負いかねますので、チームは連盟取り扱いの「ソフトボールチーム保険」または、他のスポーツ保険に必ず加入のこと。
- 9-2 金属製スパイク(同類を含む)は禁止とする。
- 9-3 バットは、JSA公認ソフトボール用3号を使用すること。
- 9-4 打者、次打者、走者は必ず両耳ヘルメットを着用すること。
- 9-5 捕手は必ず捕手用ヘルメット、スロートガード付きマスク、ボディープロテクター、レガースを着用すること。
* 準備投球の時、または、球場内のいかなる場所で投球練習するときも、捕手(またはこれに代わる者)は、腰を落としているいないにかかわらず、スロートガード付きマスクとヘルメットを着用しなければならない。
- 9-6 1塁、3塁のベースコーチもヘルメットを着用することとする。

10. 注意とお願い

10-1 ※熱中症(熱射病)対策について

一人一人十分な対策をお願いいたします。特に試合前日の深酒は慎み、睡眠を十分にとってください。且つ、当日は水分を十分に摂取してください。尚、監督は、選手の健康状態を十分に把握して試合に臨んでください。よろしくお願ひします。

10-2 毎週の試合内容、雨天等による試合の可否については、『町田市ソフトボール連盟』

「machida-softball@nifty.com」で検索して確認してください。

10-3 道路混雑が発生しています。時間に余裕を持って、試合開始予定1時間前には球場に集合のこと。

10-4 開会式4月3日(日)の駐車に際しては、大変混み合うことが予想されます。役員の指示に従い順に詰めて1台でも多く駐車できるようにご協力ください。

10-5 大会期間中は、駐車場が狭いので乗り合わせて球場に来てください。(特に、都立小山田緑地、小野球場に該当したチームは、乗り合わせ厳守でお願いします。)

10-6 忠生公園内でのキャッチボール等は、他の入園者に大変迷惑をかけますので一切禁止です。

10-7 球場周辺(公園)での喫煙、飲酒は禁止とする。【多くの市民が利用する場所です。】

10-8 ゴミは、チームで責任を持って持ち帰ってください。

10-9 応援はお互いに品位を汚さないように、卑劣なヤジは禁止する。

10-10 新チームは、「チーム名」(70×30cm)握り棒(70~100cm)のプラカードを作成し、開会式当日持参してください。

※監督は、「大会実施要項」について十分理解するとともに、チーム全員に十分説明し、徹底させてください。

11. 確認事項

(1) 試合続行が不可能な状況が発生した場合について

●日没、降雨、落雷等により、試合を途中(5回終了前)で停止することがある。

* その場合、「サスペンデッド・ルール」を適用する。

①次週以降に「停止した状態から、試合を再開・続行する」ものとする。

②試合日時、会場については、当該両チームに別途連絡する。

(2) ロジンバックは、各チームにて用意する。

※ (3) 捕手が塁上の走者となっていて二死となったとき、或いは二死後、捕手が出塁し、走者となったとき、捕手の代わりに『テンポラリーランナー』を使用することができる。

①テンポラリーランナーと交代させるかどうかは、攻撃側チームの選択である。

②二死後であれば、いかなる時点でもテンポラリーランナーを使用することができる。

③テンポラリーランナーとなる選手は、捕手の前の打順のものである。ただし、捕手の前の打順の者が走者となっているときは、さらにその前の打順のものがテンポラリーランナーとなる。

※ (4) 準備投球: 初回と投手が交代したとき以外、準備投球で1分を超えたとき、または超えそうなときは、審判員は「残り1球」と制限することができる。

※ (5) 次打者は、次打者席内で待機しなければならない。なお、一塁側・三塁側どちらの次打者席で待機してもよい。

※ (6) 打者は、投球間にサインの確認や素振りをするとき、打者席内に片足を置いて置かなければならない。

● 選手交代時の「監督」→「球審」への通告の仕方(参考)

①控え選手との交代の場合

| | | |
|---------|-------------------------------|--------------------------------------|
| 「打者」交代 | 代打○番に代わって○番 (ユニホームナンバー) | ベンチに下がる者を先に 新しく出場する者を後から 通告する。 |
| 「守備者」交代 | ピッチャー○番に代わって○番 (ユニホームナンバー) | |
| 「走者」交代 | 一塁走者○番に代わって○番 (ユニホームナンバー) | |

②守備位置の変更の場合

守備位置(ポジション番号)の「若い番号」から順に通告する。
〈例〉「一塁」が「三塁」に、「三塁」が「レフト」に、「レフト」が「一塁」に代わります。

③「交代」と「変更」を一緒に行う場合

[1]交代、[2]変更の順で通告する。
通告の仕方は、上記①、②の言い方を基本にお願いします。

●スポーツチーム総合保険について

* 平成28年度の『証券番号(10桁)』決まりました。

F 1 7 6 9 7 4 7 5 7

保険会社との連絡の際は、
必ず上記の「証券番号」を教えてください。